

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (非連結)

2025年2月4日

上場会社名 株式会社アサックス 上場取引所 東
コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介
問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松本 洪輔 TEL 03-3445-0404
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,615	12.5	3,924	12.9	4,027	20.4	2,635	21.6
2024年3月期第3四半期	4,993	8.0	3,475	7.2	3,345	3.2	2,167	2.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	79.92	-
2024年3月期第3四半期	65.74	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	115,033	48,303	42.0
2024年3月期	109,546	46,327	42.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 48,303百万円 2024年3月期 46,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2025年3月期	-	0.00	-		
2025年3月期 (予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,242	7.2	5,004	5.4	5,004	△1.1	3,254	△1.1	98.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	32,980,500株	2024年3月期	32,980,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,500株	2024年3月期	4,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	32,976,000株	2024年3月期3Q	32,976,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(表示方法の変更)	6
(四半期貸借対照表に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復を維持しております。一方で、物価上昇による影響やアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢等が海外・国内景気の下振れリスクとなっており、先行き不透明な状況が続いております。

不動産金融市場においては、都心近郊における住宅地・商業地の地価水準は堅調に推移しているものの、先行きについては前述のリスクに加え、金利上昇等が不動産の流動性や価格に与える影響を注視していく必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視して債権内容の維持に努めつつも、積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の95,378,759千円から5,091,382千円(5.3%)増加の100,470,141千円となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比6.8%の増加となったこと等により、前年同四半期比470,138千円(13.0%)の増加となりました。

その他の営業収益は、手数料収入及び解約違約金が増加となったこと等が主因となり、前年同四半期比151,974千円(11.1%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比622,112千円(12.5%)の増加となりました。

金融費用は、その他に含まれる支払手数料が減少となったものの、期中平均借入金残高が前年同四半期比8.7%の増加となったこと等による支払利息の増加により、前年同四半期比80,122千円(23.4%)の増加となりました。

売上原価は、不動産賃貸原価の減少により、前年同四半期比12,149千円の減少となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期比105,342千円(9.6%)の増加となりました。

営業外損益は、為替変動等の影響による為替差損益及びデリバティブ評価損益の変動が主因となり、営業外収益が前年同四半期比56,876千円(71.7%)の増加、営業外費用が前年同四半期比176,716千円(84.5%)の減少となりました。

特別損益において利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比224,583千円(19.0%)の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、営業収益は5,615,855千円(前年同四半期比12.5%増)、営業費用は1,691,729千円(同11.4%増)となり、営業利益は3,924,125千円(同12.9%増)、経常利益は4,027,858千円(同20.4%増)、四半期純利益は2,635,609千円(同21.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の101,576,738千円から3,658,175千円(3.6%)増加の105,234,914千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,304,284千円(23.8%)の減少となったものの、営業貸付金が5,091,382千円(5.3%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の7,970,072千円から1,828,434千円(22.9%)増加の9,798,507千円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他に含まれる関係会社株式が1,799,520千円の増加となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の18,447,668千円から1,824,831千円(9.9%)増加の20,272,500千円となりました。これは主として、未払法人税等が459,920千円(44.3%)の減少となったものの、1年以内返済予定の長期借入金が2,273,108千円(13.2%)の増加となったこと等によるものです。

固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の44,771,958千円から1,685,689千円(3.8%)増加の46,457,648千円となりました。これは主として、長期借入金が1,650,324千円(3.8%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い659,520千円があった一方、四半期純利益を2,635,609千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比1,976,089千円(4.5%)の増加となり、当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の46,327,184千円から1,976,089千円(4.3%)増加の48,303,273千円となりました。なお、自己資本比率は42.0%(前事業年度末は42.3%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,469,850	4,165,566
営業貸付金	95,378,759	100,470,141
販売用不動産	46,189	68,773
前払費用	73,271	93,249
その他	714,166	548,082
貸倒引当金	△105,500	△110,900
流動資産合計	101,576,738	105,234,914
固定資産		
有形固定資産	3,963,614	3,954,533
無形固定資産	37,662	114,147
投資その他の資産		
その他	3,968,795	5,729,827
投資その他の資産合計	3,968,795	5,729,827
固定資産合計	7,970,072	9,798,507
資産合計	109,546,811	115,033,421
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	17,163,464	19,436,572
未払金	114,690	111,647
未払費用	51,061	66,420
未払法人税等	1,037,653	577,733
預り金	23,655	47,390
前受収益	22,686	26,041
賞与引当金	27,431	3,926
その他	7,027	2,769
流動負債合計	18,447,668	20,272,500
固定負債		
長期借入金	43,384,069	45,034,393
退職給付引当金	118,700	112,900
役員退職慰労引当金	1,092,206	1,112,800
その他	176,983	197,555
固定負債合計	44,771,958	46,457,648
負債合計	63,219,626	66,730,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	44,020,586	45,996,675
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	46,327,184	48,303,273
純資産合計	46,327,184	48,303,273
負債純資産合計	109,546,811	115,033,421

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	3,620,293	4,090,432
その他の営業収益	1,373,449	1,525,423
営業収益合計	4,993,742	5,615,855
営業費用		
金融費用	342,465	422,588
売上原価	83,709	71,560
その他の営業費用	1,092,238	1,197,581
営業費用合計	1,518,413	1,691,729
営業利益	3,475,329	3,924,125
営業外収益		
受取利息	26	378
関係会社貸付金利息	451	—
雑収入	949	768
有価証券利息	16,969	20,228
為替差益	60,928	43,519
デリバティブ評価益	—	71,305
営業外収益合計	79,323	136,200
営業外費用		
支払利息	22,872	27,047
固定資産除却損	—	5,420
デリバティブ評価損	186,312	—
営業外費用合計	209,185	32,468
経常利益	3,345,468	4,027,858
特別利益		
固定資産売却益	4,742	1,189
会員権売却益	—	13,413
特別利益合計	4,742	14,603
税引前四半期純利益	3,350,210	4,042,461
法人税、住民税及び事業税	1,233,870	1,409,278
法人税等調整額	△51,601	△2,426
法人税等合計	1,182,268	1,406,851
四半期純利益	2,167,941	2,635,609

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度までは、賃貸不動産取得に係る借入金の支払利息を「金融費用」の「支払利息」に含めておりましたが、金額的重要性が増したことから、前事業年度末より「営業外費用」の「支払利息」として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「金融費用」の「支払利息」に含めていた22,872千円は、「営業外費用」の「支払利息」として組み替えております。

(四半期貸借対照表に関する注記)

偶発債務の状況は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
保証業務に係る債務保証残高	44,422,097 千円	48,198,491 千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	58,391 千円	66,516 千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、不動産担保ローン事業の単一セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。